

聖新報

Rocio Koyama
Redactor
do "Semanario de S. Paulo"
Caixa, 58 - BAURURU
Est. de São Paulo - Brasil

購読料	一年前金	300
	半年前金	150
廣告料	一回	50
	二回	100
	三回	150
	四回	200
	五回	250
	六回	300
	七回	350
	八回	400
	九回	450
	十回	500

社主兼編輯人 香山六郎

本年の豫想二三

「カフエーがなり出したら、一寸歸國して来ます」
今年はずうした考案を持つた肚の殖民者等のカフエーが一般になり出す歳である。
私の知れる範圍の人々の中「歸國して来よう」ともくろんで居る者が可成に多い。
回顧すれば今年、明治四十一年伯國日本移民創まつて以来足かけ二十年目である。
達磨禪師が面壁悟道したのも二十年たらずであつた。
二十年の殖民地生活者が、愚かにもしろ、靜的に、唯一筋に續いて働らいた二十年目だ、俺も一先づ歸つて見よう、お前もカフエーがなり出したら一先づ歸つて見るか……と、斯うした動向がカフエーなる古参殖民者に旺盛な歳が来るであらう事は豫想されぬ事でもなからう。
私は今年に於いて、カフエーの豊にのみなる殖民者等が、一時歸國と云ふ現象の著しく盛んな歳だと豫想して居る。

▼歸國する古参殖民者等も多いであらうが、渡伯する新殖民者等はより夥しいと想はる、歳である。
新殖民者等は原始生活不慣の爲め、現實の不文化生活に愛憎をつかし、蕩がきに蕩擻いた擧句、現在の環境を地極の如く觀て夢遊病者の様に彼方此方と轉々移動を始める歳であらう。
私は新殖民に面壁幾年の達磨肚胸の半分丈けでもの不動靜觀を望みたい、移植したものは、そこに根をおろすがよい、度々植の換はられれば植物でも芽をふく春を失して遂に枯死する、苦痛陰鬱な二三年が過ぎれば、播き附けた珈琲の花さく春が訪れよう、そこに殖民者のユートピアが現はれるに。

▼祖國へと歸る人々の希望を裏入計畫は、聲のみ大にして今年度切つて居るものがある、日伯爲替迄は何等具体化せないうであらうと相場場の現況である、圓換四四ミル私に豫想して居る。
▼コンゴニア殖民地の森中に、日本男兒の鉞の音を、今年内には聞て大なる恐怖である、然し私の豫想は當分圓が四ミル幾百レイス台を遠く飛はされることはあるまじいと觀じて居る。
▼近年沈香も焚かず屁もひらずの在伯海外興業株式會社支店の現況維持も、今年は何少の活氣立つた新運動期に到着するであらうと云ふ豫感がある、伯國日本移民事業の一手仕事者、ぐらつき出しだからには、社員總てに焦燥氣分があらう、それが仕事になるんだと、私は推して居る。
▼在伯邦人殖民の經濟金融機關の曙光として、祖國資本の一銀行が、年未迄には具体化しそなう年である、新殖民の焦燥氣分が何の程度迄内地ブルジョアに燃るか、在伯殖民全體の幸福増進には、それが憂はしい故障と私は想つて居るが、伯國北部地方へ日本移民の輪を生第一期と、私は觀じて居る。

要するに今年より明年にかけて在伯邦人殖民の運命は、恰かも新舊入換の動搖状態を現出する。古き殖民者は十幾年憧憬の母國へ、現實の悲哀を味ひに戻る。新殖民者等は憧憬の南の國へ来てマモンばかりで生きて行く苦痛を體驗する。
母國へ歸つた人々は、早くブラジルに戻らんと焦り、伯國へ移つた新人は、生活の苦しみはあつても祖國はい、処だ、と逆感する。本年は在伯邦人殖民の二十年更生第一期と、私は觀じて居る。

家具製造 並に 販賣
古賀政次
バウル市八月一日街 (シネマ真前)

MARCENARIA JAPONESA
Massagi Koga BAURURU

Dr. Hildebrando T. de Carvalho
MEDICO
小兒科、一般臨床醫
X光線、紫外線
皮膚病療法
應用治療
診察所
バウル市、アントニオ・アルベス街十二十三、電話三〇七
ランド、テ、デ、カルバリオ

時計修繕
RELOJERO
おなじみの澤尾ホテルに投宿して、諸君の時計修繕の御要求に應じて居ります。
修繕専門に致し居りますので、仕事は確實、迅速、丁寧で、代價も至極お安く致します。
御要命下さい。
エンリケ、ペトリエ

HOTEL e ARMAZEM JAPONEZ
Caixa, 261 - Penapolis

雜穀仲買
雜貨小間物商

日本旅館
ノロエス線ペンナポリス市アベニダ
ルイズ、オゾーリオ七六 郵函二六一
代 田 喜 市

N. Y. K. LINE.
F. S. Hampshire & Co. Ltd.
S. Paulo: Rua Alvares Penteado, 17 Sobrado
Santos: Rua 15 de Novembro, 147 Sobrado

日本郵會社船 出 帆 廣 告
日本行には一番早い航路
(南米日本間約五十日)
若狭丸
一月卅一日
サントス港出帆
河内丸
三月四日サントス港發

日本郵會社船は略毎月一回神戶向サントスを出帆致します。他船に較べて日本へ約十日間も早く着きます。
日本へ歸られる船客は南阿の一部を除いて途中御上陸が隨意に出来ません。
衛生設備の整頓、食事の優良、乗組員の懇切等に就き定評があります。
▲詳細は何卒上記代理店へ▼

CASA TOKIO
材木 家具
商カ 1 ザ東京
聖市、ルア、パロン、デ、イタベチニガ二〇
杉本芳之助

北西線ペンナ驛
吉野旅館
雜穀 珈琲棉 右田辰彦
仲買商

THE YOKOHAMA SPECIE BANK LTD.
RUA DA CANDELARIA, 23
CAIXA, 380
RIO DE JANEIRO

▲郷里送金▼
一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可致候。當店に於て負擔いたし即ち全無手数料にて御郷里の金取人へ送り届け申上候。
二、金子はコンパノル、郵便爲替又銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commerc. al do Estado de S. Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de S. Paulo へ御拂込被下候。
三、何にしも送金申込書は必ず必ず當店へ御送り被下度候。
四、日本貨定期預金利息六ヶ月以上年六分
預金定期預金 (六ヶ月以上年四分五分) 壹ヶ年以上年四分
金 伯貨當座預金(小口) 年四分

預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候。
預金通帳は書留郵便にて御送附可申上候御申込の際には最寄郵便局御指定相成候は、御便宜に有之候。

リオ、デ、ジヤネイロ

横濱正金銀行支店
R. Galvão Bueno, 85
Caixa, 2-Z S. Paulo

聖州義塾
寄宿舎、夜學校、日本語科、葡語通信教授、
主任 小林美登利
サンパウロ教會 日曜午後八時
日伯合同日曜學校 全午後三時半
場所 聖市ガルボンブエノ街八十五

Alfaiataria Yabe
SÃO PAULO

矢部洋服店
最新歐米型迅速可嗜
御用命ニ應じます
聖市、ラルゴ、ダ、セー九
二階の第一號

HOTEL USHIO
館主 前田吉太郎
サントス市
電話 一九二四
一九二八

大阪商船會社 指定乗船切符 取次所
ほてる

電報欄

●エクワドルの地震
グワヤキル市市日電、ガウシヤル、アルダナ兩村落は廿九日の強震に全く破壊された、ナラジツト市街も崩壊し火災に包まれたつゝ、あり損害大と。

●支那の借款

北京卅日電、北京内閣蔵相は一億弗の外債を募集して居る、擔保は輸入税で。

●ボルシエビスタ

聯盟祭

モスコ州日電、今日はボルシエビスタ聯盟設立四年目の紀念祭である、共和黨派は公に祭典を執行した。

●輕氣球の新記録

ローマ卅日電、飛行家バスタレバ氏は輕氣球飛行の新レコードを出した、一千キロの貨物を積んで一時間百九十キロ三百八十九メートル飛走した由。

●北米の秩父宮殿下

華府卅日電、御歸途中の秩父宮殿下には大統領クリッヂ氏に十分間御面會になつた、林男及び松平大使御供して、大統領は陛下の崩御哀悼の意を表した。

●ボルセビキ主義の人民

モスコ州日電、ボルセビキ主義の人民數が露西亞内に於て一億四千五百萬人と計上された由。

●聖上の御微恙

東京四日電、聖上及皇后陛下には微恙の御風邪に御かゝらせ給へり、御容態は輕いと。

X 光線

▼歳末から斯う降つては一切合さい微の世の中と案じたら茲二三日晴れた、今年の棉畑蟲が湧かねばいいが、
▼諒閣氣分で植民地何處も淋しいお正月であつたと、唯野蠻人だけがビンガ飲んで唄つて居た

▼崩御にて或る一小學校では十五子借出にバタ／＼とした泣きながら日問生徒に毎朝東天に向つて遙かからに黙禱を捧げさせておいた生徒の父兄が、生徒に木刀をさし、せがんで怪しからぬ、と先生に詰寄つたさうな、黙禱と木刀さしひの滑稽だつたと。
▼「諒閣のお正月で」と挨拶する人の言をさかじつた或男が他で「ケイ、ワンのお正月で」と挨拶して居たさうな
▼諒閣の喪章をつけた一日本婦人に一伯婦人が「誰が死んだのか」ときいたで「インペラドールモレク」と答へたら、伯婦人不可解な眼をしてインペラドールとお前さんんはコニエシドかど訊ねたさうな、日本婦人は一寸言句につまづた揚句餘り莫迦／＼しいでソッダと云つてのけたと
▼プロミッソンの上塚翁は崩御の報を得て門前に「歳暮年始御互に御遠慮可申上事」と掲示した、斯うした掲示文だけでは是迄上塚氏は殖民者等に白髪にされた
▼ノロエスタ殖民へ低資の貸出が餘りおくれるので債務者等は又利とか。

●露國工業

昨年度露國工業製作高は八十九億ルーブルに上つた、一昨年度は七十五億であつたと、モスコのソビエツト經濟審査所は發表した

●禁酒の害

北米十ヶ市の統計によれば、禁酒の爲め人民が工業用の有毒アルコールを飲んで傷害したもの昨年千五百名に上つて居ると。

●西曆前四十年の遺物

英國ペンシルバニア、アルディア地方の各所地下六メートル半の所に古代の遺物が發見された、西曆四十年前のもので、バグダッド地方にある遺物の建築と略ぼ同じ

卸小賣並に御祝儀佛事其他一切の御贈答品を安價に調達致します

Confeitaria HIRATA

洋和 御菓子製造所
別に日本食料品一切あります
ノロエスタ線プロミッソン驛 郵函三三二 平田伊平

清潔閑靜

日本旅館

館主 中村忠吉
北西線ビリグキ驛

Hotel Oriental

Armazem de Seccos e Molhados Bebidas
Caixa, 47 Tel. 81
Est. PROMISSÃO

東洋旅館

並に 平田商店
北西線プロミッソン驛
館主 平田千嘉藏

Hotel Nippon

ベナナ
Caixa Postal, 71

ホテルニッポン

ベナナ驛カフエランデヤ町汽車道通り
副島商店ホテル部

Hotel e Bar

LINS
Kaneco

御宿金子

ノロエスタ線リンス市九月七日町
(市へ入口の坂下の右側)

CASA OHARA

DE OHARA & IRMÃOS
ARAÇATUBA
Machina de beneficiar arroz, algodão e Moinho de fubá

大原兄弟商會

精米 精綿 及
雜穀仲買
フバ製造所
雜貨一般卸及小賣
北西線アラサツバ市
カルロス、ゴメス街
電話 二〇八
郵函 二〇八

御旅館

伊藤

アラサツバ驛唯一の邦人宿
ノロエスタ線アラサツバ驛前
館主 伊藤作太郎

大福旅館

館主 武藤伊助
ノロエスタ線リンス町

ARMAZEM de Seccos e Molhados

清酒正宗罐詰類一切小説、雜誌類
小供大和蚊帳(やまとがや) あります
北西線リンス驛 寺院ブラサ前

青木商店

反物
館主 武藤伊助

Officina Mechanica

ANTONIO S. TANAKA



各種自動車修理に應ず

パウラー市バチスタ街 6-20 田中庄助 郵函九六

御旅館

松山三太郎

聖市、カンタレイラ街九〇番
電話シダレ七二一三六
郵函シダレ二二四三

Dentista

齒科 醫 山中信一

北米最新式治療
ノロエスタ線、リンス町、寺院ブラサ前

雜貨小間物

吉田兄弟商店

雜穀仲買
ノロエスタ線ビリグキ町
郵函 二七二番



常盤

石原桂造
電話 二七二番
郵函 一八五九

R. C. Sarzedas, 41 - S. Paulo

遺言状は無かつた

星名翁の

昨年未十三日不慮の死を遂げた...

Banco Noroeste do E. de S. Paulo

49 - RUA 15 DE NOVEMBRO - 49

サンパウロ州ノロエステ銀行

日本の第一銀行と取引して居ります...

野村測量技師のコンゴニア引掛け...

野村測量技師のコンゴニア引掛け

昨年未コンゴニア殖民地の大規模測量も一段落したので...

ノロエステは珈琲園も稲島も草だらけ

歳末から降り続いた雨の爲め農家は畑の除草も出来ず...

園も稲畑もミリオオ畑も家の周囲も雑草だらけ...

ソノ線の棉作地も

早つた方が降り続くより成績のいい棉畑の多いソノ線...

青年會場建設

同じくプロミスソン驛町在住の日本人先輩等協議して町内に町の邦人青年會場を建設せんと計畫中...

宮下氏の消息

セントラル線モデラス、クルーズ驛に一農場を買入れ、揮旗農學士に經營を一任し急遽歸國の途に上りし海外中央協會の幹事宮下琢磨氏は...

笹田ドットル入殖

ノロエステ線アリアンサ殖民地の聘に應じ一時單身該地に入り殖民病患者治療中なりしドットル笹田氏は...

犯罪の統計

北米に於ける 北米での殺人犯罪数は一九二五年度の統計によれば一萬二千二人で一日平均三十二人の殺人が行はれて居り...

紛失

去月十日サントス入港の神奈川丸渡伯の移民に有之左記荷物二個行違ひの爲め不着に候へば御心當りの方は甚だ恐入候得共左記宛宛廻送願し度願上候...

佐藤良純

北西線プロミスソン驛 大分縣人 佐藤良純

人事件数は二四〇であったのが一九二五年度には三七四件に増加してゐる由...

獨國の飛行機

ロンドン廿五日電、獨國は歐州戦亂後戰機飛行機製造を聯盟國より禁止され居るので...

日本は開せず

(東京廿五日電)支那南方反英騒擾に就き英國は日本に覺書を送つたが、支那前途の中央政權に關しては英國の意見に同意し難く日本は聲明した由。

伊藤敬藏氏夫人病む

昨年九月バウル郊外棉作をやめてアリアンサ殖民地片倉農場に移りし伊藤敬藏氏夫人は卵巢囊炎に罹り、切開治療の爲め昨年暮れも押しつまつた廿九日夫君同伴出聖された。

横濱正金爲替相場場 邦貨一圓につき伯貨四ミル百八十一ル(二月三日)

齒科 向井丈松 北西線プロミスソン驛 郵函 四八

R. ABE EST. PROMISSAO 筋違、骨接、何時にても診察 治療致します 阿部亮治 ノロエステ線 プロミスソン驛 コレゴ、アズール區

ノロエステへの低資 北西線への低資貸出は領事館にては全部調査を了し本月五日よりの豫定の處、登記所側で調査に意外な手間取り茲兩三日にはまだ貸出の運びに至るまいと。

移轉廣告

松田幸藏 山本一豆 土村清繁 山本森喜代 中村吾藏 島井喜雄 小原カノ 高原要一 中村辰喜 西川幸雄 成松寅彦 山口彌次郎 成松敬藏 川野益良 紫垣貞記 川野益躬 森山茂藏 高濱八太郎 藤本茂喜 下田勝喜 柴尾新市 麻生ミヨ 川上三藏 西村高嗣 亀井善象 西本芳太郎 松下熊八 藤瀬喜多富 松京三 橋本文五郎

自働車修繕

誠意を主旨として御用命に應じます 右郵便物の受信は(リンス驛)に致し居候處今左記の處に變更致し候に付此段廣告仕り候 ノロエステ線グアイアラ驛 ポアピスタ殖民地

Escritorio Commercial Caixa. 44 Est. GUAYÇARA L. NOROESTE 一般商事 事務取扱 資金取立、清算、抵當物整理、商業通信、貸借対照表簿記一切 相馬ボルジエ ス合同事務所

Hotel Japonez 御便宜を旨とし取計ひます 北西線ベンナ驛カフェーランジヤ町 川尾 利市 郵函一〇一

新流行反物、内外化粧品、日本小間物類、文房具類、食料品、種子物、書籍、金物類 穀物仲買 ヤナギ兄弟商店 アルマゼン 北西線プロミスソン町 郵函十八

日本品直輸入 内外食料品 洋酒卸小賣 農産物買入 瀬木商店 本店 サンパウロ市 支店 バウル市

農産物買入 雜穀 仲買商 岡島仁郎 ノロカバナ線、セルケラセーザ驛 郵函拾四番

CASA NISHIMOTO Armazem 買仲穀雜 薄利多賣と親切と 御便利とは本店のモットオであります 西本商店 ノロエステ線 アラサツバ驛 郵函二〇八 アグワリンバ



女忠臣藏

(六十五)

碧 瑠 璃 園

けれど評議の始まるには間があつた。先日の...

「橋本平左衛門其後一向に姿を見せぬ、如何様に致したかな」...

「國計へ歸つたと云ふまじや」...

「其事は承はつた、何か眼病を煩ひ居るげな」...

「是が近頃赤穂から上られた井口半蔵の云ふを聞くと、一向させぬ風もないさうな、家のみ引籠になつて、我等心の否りを嘆きはつて居るが、打ち見た処、はつきりした眼を致し居る氣にや」...

「はての、甚い眼病と承はりあつたが」と、河村は問十次郎を見返つた、十次郎はまだ赤穂に住んで居るのであつた。

「さればソコヒとある、急に全快の見込みもあるまい、不憫な者でござる」

「十次郎殿も彼奴の言葉真に受けてお在てと見ゆる」傳兵衛は又云つた。

「すると貴殿、平左衛門の眼病に不審でもあるとお云ひか」...

「勿論の事、貴殿まだ御存じないか、平左衛門家内の親は、彼の玉蟲七郎右衛門ぢや」

「其事は聞いた、なれど...」...

「七郎右衛門を肩に持つ程の者

アルマゼン 農産物 上田商店

Hotel Progresso 館旅尾澤

Hotel Japonex 館旅本日

石油エンジン賣物 山口商店

Casa Anse 安瀬商店

富士山醬油合資組合

土岐兄弟商店

K三共商會

FOLHEIRO Casa Hayashida

大坂商船指定符次所

大河内薬化学研究所